

インフルエンザ患者報告数が、注意報レベルを超えました。 ～感染拡大防止に努めましょう～

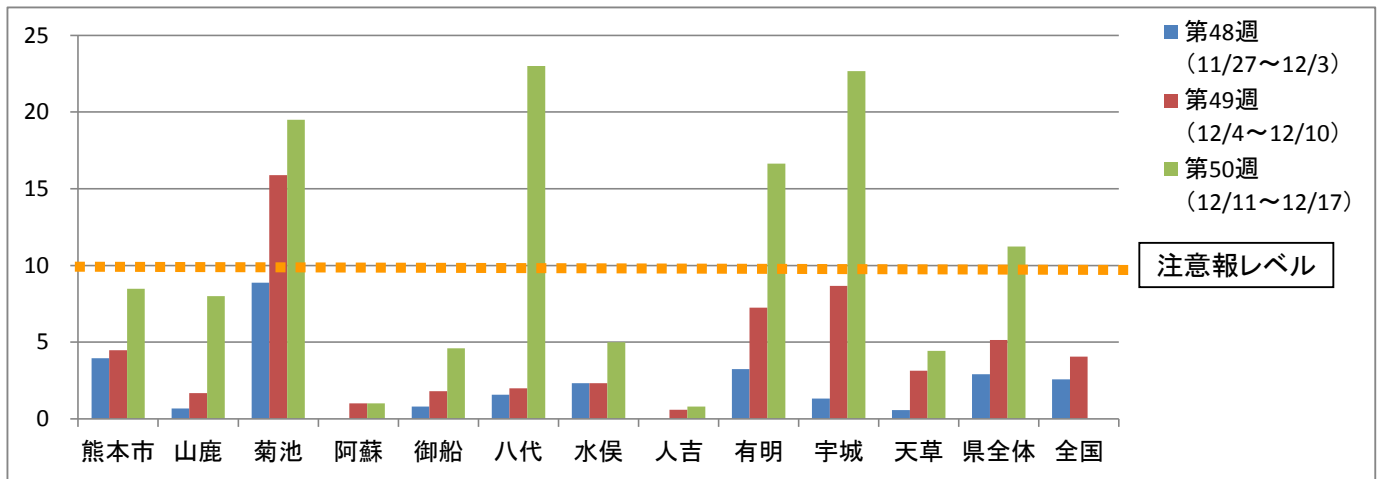
平成29年第50週(12月11日～12月17日)の熊本県感染症発生動向調査で、県全体のインフルエンザの定点当たりの患者報告数(※)は、11.23(定点数80か所、報告数898)となり、注意報の基準値(定点当たり10)を超えました。

保健所別では八代(定点当たり23.00)、宇城(定点当たり22.67)、菊池(定点当たり19.50)、有明(定点当たり16.63)が注意報レベル(定点当たり10)を超えています。

これから患者数の増加が予想されますので警戒が必要です。一人ひとりが正しい知識を身につけて、手洗い、せきエチケットなどインフルエンザ対策をしっかり実行しましょう。特に、医療機関や高齢者施設、保育所、幼稚園、学校など集団生活の場では、徹底した感染予防に努めてください。詳しい予防対策は、裏面や国、県のホームページをご覧ください。

※定点当たりの患者報告数…1週間のうち定点医療機関(あらかじめ選定された県内80医療機関)から報告された患者数を定点医療機関数(熊本県は80)で割った値

○定点当たりの患者報告数



※全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報には平成29年第49週分までとなっています。

○保健所別定点当たりの患者報告数

	熊本市	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県全体	全国
第48週 (11/27~12/3)	3.96	0.67	8.88	0.00	0.80	1.57	2.33	0.00	3.25	1.33	0.57	2.90	2.58
第49週 (12/4~12/10)	4.48	1.67	15.88	1.00	1.80	2.00	2.33	0.60	7.25	8.67	3.14	5.15	4.06
第50週 (12/11~12/17)	8.48	8.00	19.50	1.00	4.60	23.00	5.00	0.80	16.63	22.67	4.43	11.23	

《参考》

厚生労働省ホームページ「インフルエンザに関する情報」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html

熊本県ホームページ「インフルエンザ総合情報ホームページ」

http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_17785.html

注意報

連絡先 健康危機管理課
直通 096-333-2240
内線 7082, 7080
(感染症・新型インフルエンザ対策班)
担当: 吉岡、廣瀬、山鹿

(裏面あり)

【現在のインフルエンザ流行状況】

- ① 全国の平成29年第49週（12月4日～12月10日）の定点当たりの患者報告数は「4.06」となっています。
※全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、1週古い情報になります。
- ② 今シーズンに入って国内各地で検出されたウイルスはA型が最も多くなっています。
※インフルエンザウイルスは大きくA型、B型、C型に分類され、国内で報告されるのは、主にA型とB型です。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、例年11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者数が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 流行時には人混みを避ける。
- ② 20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを習慣づける。
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
- ② 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ せきエチケットを守る。

※せきエチケットとは？

～感染の拡大を防ぐための大切なルールです～

- ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

【過去のシーズンのインフルエンザ流行状況】

シーズン	流行入りした週 (※1)	注意報レベルに達した週 (※2)	警報レベルに達した週 (※3)	シーズン中、最も報告が多かった週
2017～2018 今シーズン	平成29年第47週 (H29.11.20～11.26)	平成29年第50週 (H29.12.11～12.17)	—	—
2016～2017	平成28年第50週 (H28.12.12～12.18)	平成29年第2週 (H29.1.9～1.15)	平成29年第4週 (H29.1.23～1.29)	平成29年第4週 (H29.1.23～1.29)
2015～2016	平成28年第2週 (H28.1.11～1.17)	平成28年第4週 (H28.1.25～1.31)	平成28年第6週 (H28.2.8～2.14)	平成28年第9週 (H28.2.29～3.6)
2014～2015	平成26年第50週 (H26.12.8～12.14)	平成26年第52週 (H26.12.22～12.28)	平成27年第2週 (H27.1.5～1.11)	平成27年第3週 (H27.1.12～1.18)

【国が定める基準】 ※1 流行入り ・ ・ 定点当たりの患者報告数 1.0
 ※2 注意報レベル ・ ・ 定点当たりの患者報告数 1.0
 ※3 警報レベル ・ ・ 定点当たりの患者報告数 3.0